

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	【理念の共有と実践について】 現在朝礼での理念の唱和は行っているがグループホーム内で理念について職員間での共有が図れていない。	グループホーム職員間で日々のケアの振り返りや、理念の共有を行い実践に繋げる事が出来る。	①事務所やトイレなど目の行き届く箇所への理念の掲示を継続し行う。 ②毎月のミーティング時に日々のケアや、理念に基づいて実践が行えているか振り返りを行う。	3ヶ月
2	6	【身体拘束をしないケアの実践について】 グループホーム内での身体拘束は行っていない。会議や法人内で身体拘束についての研修は実施しているが外部研修への参加や、ホーム独自での身体拘束について学ぶ機会が設けられていない。	①職員が積極的に外部研修へ参加できる環境を作ることができる。 ②身体拘束についての知識を高める事で拘束のない職場作りが出来る。	①外部研修のお知らせの回覧を行い、希望者は勤務を調整し参加ができるようにする。 ②定期的にホーム独自で身体拘束適正化委員会の開催や身体拘束について学ぶ機会を作る。	6ヶ月
3	35	【災害対策について】 法人全体での火災、防災訓練の実施、グループホーム内で夜間想定を含めた災害マニュアルの共有は行っているがグループホームでの出火を想定した訓練は実施できていない。	①職員の防災の意識を高める事が出来る。 ②実際の災害時に落ち着いて対応が出来る。	①ホーム内での夜間想定火災訓練を実施する。 ②定期的に災害マニュアルの確認、新人職員への研修を行う。	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。